

サンルダム水源地域ビジョン

持続可能な地域社会 を目指して



令和4年3月

サンルダム水源地域ビジョン策定検討委員会

目次

1. 水源地域ビジョンとは
2. サンルダムと周辺の概要
3. ビジョンの策定にあたって
4. サンルダム水源地域ビジョン
5. ビジョンの推進と課題

1. 水源地域ビジョンとは

ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図り、流域内の連携と交流によるバランスのとれた流域圏の発展を図ることを目的としています。また、策定にあたっては、ダム水源地域の自治体、住民等が事業者・管理者と共同で策定主体となり、下流の自治体・住民や関係行政機関に参加を呼びかけながら策定する行動計画です。

2. サンプルダムと周辺の概要

(1) 事業の概要

天塩川は河川流路延長**256km**（全国第**4**位）、流域面積**5,590km²**（全国第**10**位）の最北の一級河川です。サンプルダムが建設されたサンプル川は、天塩川の**1**次支川である名寄川の支川に位置しています。

天塩川流域は過去に幾多の洪水に見舞われており、天塩川改修の抜本的対策として既設の岩尾内ダムを含む洪水調節施設が計画されました。

また、ダム下流地域においては、生活様式の向上、下水道の普及により、都市用水を中心に河川表流水の需要量は増大の傾向にありました。

このような背景から、流域一帯の洪水被害の軽減、流水の正常な機能の維持、水道用水の確保、併せて発電を行うことを目的とし、サンプルダムが建設されました。

(2) サンプルダムの特徴

河川名	天塩川水系サンプル川
位置	上川郡下川町珊瑚
ダム形式	台形CSGダム
高さ	46.0m
堤頂長	350.0m
流域面積	182.5km ²
総貯水容量	57,200,000m ³
有効総貯水容量	50,200,000m ³
洪水調節容量	35,000,000m ³
発電（最大出力）	1,100kW

(3) 下川町の概要

下川町は、北海道の北部に位置し、東西に約20km、南北に約31km、総面積644km²を有する内陸の町で、天塩川水系である名寄川の流域に沿って開かれた山村であり、ピヤシリ山、ウエンシリ岳などの低い山々が波を打つように連なっています。

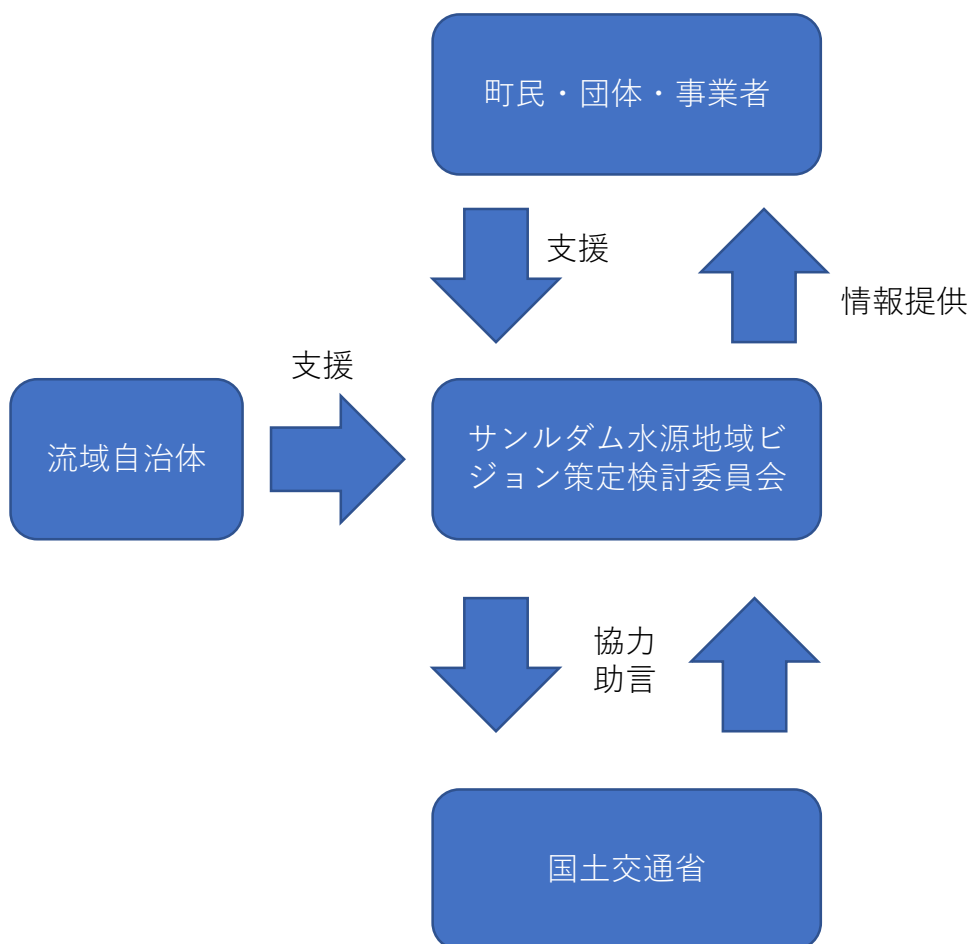
気候は、内陸性の気候を示しており、夏は30℃、冬は-30℃を超える寒暖の差が大きい地域で、平均気温は1月が-9.3℃、8月が19.5℃となっています。また、積雪は平野部で約1.2m、山間部では3m近くに達し、12月上旬から3月下旬頃まで降雪が続く積雪寒冷地です。

3. ビジョンの策定にあたって

サンルダム水源地域ビジョンの推進を図るには、流域住民や各種活動団体など関係者が一体となって、連携・協力することが重要です。

本ビジョンの推進にあたっては、サンルダム水源地域ビジョン策定検討委員会を組織し、関係行政機関と連携して進めるとともに、必要に応じて地域活動団体や民間企業などと相互に情報提供を行いながら、取り組んでいくこととします。

ビジョンの推進体制



4. サンプルダム水源地域ビジョン

サンプルダム水源地域ビジョンは、基本理念と3つの方針を設定し、行動計画を考えました。

基本理念	基本方針		行動計画
地域住民の安全・安心と豊かな生活を支えるサンプルダム	自然環境の保全と環境教育の推進	水源地域の自然環境・景観の保全	自然とのふれあいの場の創設
			地域住民や子どもたちの参加による動植物調査の実施
			魚道を活用した体験学習
			流域住民と連携したかわまちづくりの推進
			森林の適性な維持管理
			地域の活性化や森林保全などの他の取り組みとの連携
		サンプルダムの水質の保持	地域住民との連携による炭や植物を活用した水質保持
		広報やイベント等による水質保持へ向けた流域住民の意識の喚起	
		水源地域内のゴミの清掃活動の推進	
		資源・施設の有効活用	既存施設の有効活用による地域活性化の推進
	資源・施設を結ぶ幹線道路網、交通ネットワークの形成		
	雪氷など多様な資源を活用した取り組みの推進		
	四季を通じたダム湖周辺の活性化策の検討		
	資源・レジャー情報の一元化と情報発信		水源地域やサンプル川の資源（施設、歴史・文化等）の再発掘
	流域エリア間の情報交換会の開催		
	ホームページによる発信		
	ダム湖面の安全な利活用と管理		水上スキーや釣りなど水面利用の共存に向けた方針づくり
	施設利用の安全を喚起する看板の設置		
	人づくり・連携の推進		地域の自然や文化を継承する人づくりの推進
		サンプルダム・サンプル川を対象としたコンクールの開催	
小中学校を対象とした学習会等の開催			
環境保全や地域活性化へ向けた流域連携の推進		町内外のイベントとの連携による地域活性化の推進	

5. ビジョンと推進の課題

このビジョンは、皆様にご理解、ご協力いただいで初めて、その意味を成します。作成しただけでは、まさに「画竜点睛を欠く」状態です。

今回作成しましたビジョンを推進するための活動を実施していかなければなりません。団体、個人問わず、地域の皆様が主体性をもって活動していただくための体制を構築していきます。